

会派 (視察・調査・研修) 結果報告書

令和4年 8 月 26 日

会 派 名 公明党
代表者氏名 加根 佳基

視察・調査 場 所	登別市・旭川市・環境省大臣官房地域政策課
期 間	令和 4 年 8 月 22日～ 令和 4 年 8 月 24 日
経 費	¥ 3 2 2 , 9 0 0 -
参加者氏名	坂元百合子・加根佳基
視察・調査 目 的	自殺対策条例制定について・ICT パーク競技場について・地方創生に貢献する地域脱炭素の 取り組みについて

内容
(視察先の
現状、東広
島市との比
較等)

1 日目登別市役所／8 月 22 日（月）（13：30～15：30）

自殺対策条例制定について

登別市における人口 10 万人当たりの自殺者は H21 年から 28 年まで全国の数値を上回っており H29 年に下回ったものの、依然として憂慮すべき状況であることに変わりなく、厳しい状況にある。このような中、議員提案(現議長)による自殺対策推進が押し進められ関係機関や民間団体と連携・協力のもと H30 年に、「登別市生きることを支えあう自殺対策条例を」制定・施行した。制定後の取り組みとしては、自殺の名所となっている現場では自殺しにくい環境をハードの面から取り組んでおられ、効果も表れている。自殺の原因はそれぞれあるが、心の病んでいる部分についてはしっかり関係機関につなげ連携の中で具体策を講じておられる。この自殺対策条例の制定によって社会的提案として認識が広まり高まってきており、具体的に人の命を守るという非常に尊く素晴らしい取り組みをされている。本市にはまだ条例はなく、年間自殺者は 30 人前後であることにもっと認識を高めより具体的な対策を求めていきたい。

2 日目旭川市／8 月 23 日（火）（13:00~15:30）

ICT パーク競技場について

官民連携による施設であり AI・IOT 技術を活用した、地域の課題解決の推進に取り組んでいる。e スポーツをきっかけにプログラミング人材育成にも繋げている。さらにトレーニングジムではe スポーツの楽しさを仲間と共有し合えるスペースで学生や社会人が企画する小規模イベントの会場として活用されている。本市ではこのような e スポーツ施設は民間でしか見たことがありません！！行政がどのようにかかわっていけるかしっかり勉強をしてくなくてとは感じた。

3 日目国会議員会館／8 月 24 日(水)(14:00~15:00)

環境省 大臣官房 地域政策課

地方創生に貢献する地域脱炭素の取り組みについて

1 地域脱炭素ロードマップ・ 2 脱炭素先行地域・ 3 重点対策・ 4 公共施設の脱炭素化・ 5 企業・金融機関との連携・ 6 地域共生型再エネ推進・ 7 地域脱炭素を支える支援措置まで順次説明を受けた。

地域脱炭素は、地域課題を解決し、地方創生に貢献する。一人一人が主体となり今ある技術で取り組める。地域資源を最大限に活用することで実現できる。そして地域課題の解決に貢献できる。今後の 5 年間に政策を総動員し人材・技術・情報・資金を積極支援する。そして、2030 年度までに少なくとも 100 か所の脱炭素先行地域を作る。農山漁村、離島、都市部の街区など多様な地域において地域課題を解決し、住民暮らしの質の向上を実現しながら脱炭素に向かう取り組みの方向性を示す。重点対策の加速化を、自家消費型太陽光発電・再エネの立地・省エネ・再エネ電気調達 ZEB 化誘導・建築物の省エネ性能等の向上・ゼロカーボン・ドライブ・循環経済の移行・脱炭素型まちづくり・生産力向上と持続性の両立など進めていきます。公共施設では、公用車などすべて電動車とする。地域金融機関による脱炭素化に伴う機会とリスクを捉えた地域企業を支援。地域共生型の再エネを増やすことが重要。地域脱炭素移行・再エネ推進交付金による支援を行います。具体的には官民ファンドを作りました。このような具体的な推進に当たるための材料を国においてはメニューも豊富で本市としても具体的な取り組みを行う必要性を感じた次第です。

効果・成果
等

今回の視察研修では、大変に参考になりました。

今後においては一般質問や代表質問で行政の取り組みを質してまいりたいと思います。